



# 七戸の 議会だより

2008年  
NO. 14  
平成20年11月発行  
七戸町議会  
広報編集 特別委員会



町議会議員研修視察にて……上(左)イオン紫波姫ショッピングセンター前(宮城県栗原市)、上(右)二戸駅観光物産センター内(岩手県二戸市)、下(左)道の駅はなの産直施設内(埼玉県深谷市)、下(右)上毛高原駅構内(群馬県みなかみ町)、8月19日～21日の各視察先にて説明を受け見学をする様子

## 九月定例会

決算審査特別委員会	2
主な審議内容	5
一般質問に6人登壇	6
委員会の動き	12

# 平成 19 年度各会計歳入歳出決算 決算審査特別委員会

## 賛成多数で決定 (賛成 15、反対 1)

### 反対討論

佐々木寿夫 議員

昨年と今年の予算の規模を比べてみると、2 億円程歳入歳出とも減額になっていきます。そういう厳しい財政状況の中で、乳幼児の医療費を無料にすることをはじめ、きめ細かな社会保障の対策、一人一人の町民を見る対策をしっかりと立てています。

ちなみに、七戸町の総合検診等の補助率は他の町村に比べても大変高い、そういう意味でも少ない財政の中で努力しているのはわかります。しかしながら私は、決算に対して全面的に賛成するわけにはいきません。

その理由の一つは、なんといっても町全体をどのように発展させていくかの、ビジョンに基づいた予算の執行が行なわれていないと感じるからであります。

それは、新幹線を中心に町を作っていく、それはそれでいいのですが、既存の商店街はどうするのか、あるいは周辺の農村部はどうするのか、昨日、一昨日と私も縷々述べましたが、この点でもやはり予算の配分が違うというふうに考えます。

二つ目は、後期高齢者医療制度は、いま参議院で否決され、衆議院の選挙の結果によっては、これ自体が

否決されてしまう、そういう制度であります。

そこで、制度については、総務省でも県の広域連合でも広報を出していますが、どの広報を見ても後期高齢者の負担は減る、とは書いてあります。医療の内容は打ち切りとか、診療報酬は長く入院するとどんどん減るとか、お年寄りが病院にしっかりと入院して治療が出来るような体制にはなっていない、そういう法

律ではない。そういうことについては一切触れていない。総務省であれ、県であれ、莫大なお金を使って PR しているわけですが、都合の良いことだけを述べています。こういうことについて、予算の執行がなされているので、これについても反対をしたいと思います。

以上二つの理由から反対したいと思えます。

### 賛成討論

附田 俊仁 議員

2010 年度新幹線の開業をひかえ、厳しい財政の中、やりくりをされている町長はじめ、役場職員の皆様のご苦勞を高く評価しております。よって、この決算を踏まえた上で、今年度 20 年度の予算執行、若しくは 21 年度予算の編成が順調に運びますようあらためてお願い申し上げます。賛成討論とさせていただきます。

原子 孝 議員

平成 19 年度本決算を認定するという立場でここに立ちます。富士町政最後の決算になると思います。長年に渡って行政に携わり、概ねその重責をまっとうしてきたという、その姿勢に敬意を払って今回この席に立つべき決心をしました。そこで、認定すべきでない、ということをご指摘していただきました、国の制度、あるいは町の将来のビジョンが無い、いささか私も同調

川村三十三 議員

できる部分もあるのですが、これは片や国の制度であり一自治体が反対できる立場でもない。まして、商工会等町のビジョンと、これも新幹線がらみでこれから将来展望が見える中で、構築していくべきものである。そう思い本決算においての影響は少ない、そう思います。従って平成 19 年度本決算は認定すべきであるという賛成の立場で討論を終わります。

今日までの審査の中で、私は当局に対して、法的に不備な点についての決算額が見え、そういうような点について苦言を呈しましたところ、今年度中においてこのことについては一つの結論を見出して、より良い方向できちっとした決算書を作り上げる、こういうようなことを表明いたしましたので、私としてはそういう立場からいいますと、反対するわけにはいきません。

しかし、強力に賛成も出来ないわけではありますけれども、町当局が昨年よりも前向きに、決算書をこれから作るという約束でございいますから、そういう意味において敬意を表しながら、いささか声を小さくして賛成の討論をさせていただきます。



代表監査委員  
新館 昭子



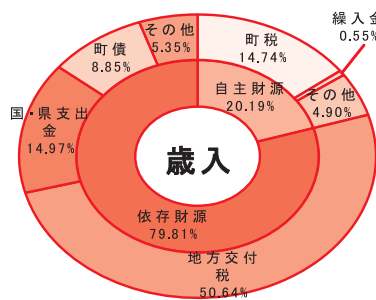
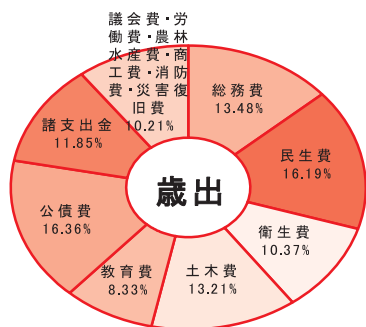
副委員長  
原 子孝



委員長  
瀬川 左一

決算審査  
特別委員会  
9月4日・9日・10日

# 平成19年度 一般会計決算



歳出 88億8,714万3,150円

総務費	11億9,759万0,042円
民生費	14億3,875万5,137円
衛生費	9億2,146万4,866円
土木費	11億7,418万1,334円
教育費	7億4,064万1,523円
公債費	14億5,404万5,380円
諸支出金	10億5,311万6,496円
議会費	9,228万9,504円
労働費	112万6,298円
農林水産業費	2億7,336万3,836円
商工費	1億2,739万2,481円
消防費	3億1,269万0,654円
災害復旧費	1億0,048万5,599円

歳入 89億8,325万7,656円

自主財源	18億1,392万3,562円
町税	13億2,443万4,904円
繰入金	4,908万5,591円
分担金及び負担金	1億4,252万0,982円
使用料及び手数料	8,746万2,689円
財産収入	5,140万9,000円
寄附金	502万0,000円
繰越金	5,196万3,688円
諸収入	1億0,202万6,708円

依存財源	71億6,933万4,094円
地方交付税	45億4,871万8,000円
国・県支出金	13億4,467万6,094円
町債	7億9,500万0,000円
地方譲与税	2億0,946万9,000円
利子割交付金	490万0,000円
配当割交付金	258万6,000円
株式等譲渡所得割交付金	104万2,000円
地方消費税交付金	1億7,483万1,000円
自動車取得税交付金	7,502万9,000円
地方特例交付金	873万2,000円
交通安全対策特別交付金	435万1,000円

歳入 89億8,325万7,656円  
 歳出 88億8,714万3,150円  
 差引額 9,611万4,506円  
 ◎差引額のうち3,000万円を基金に繰入

(単位：円)

区分	予算現額	歳入		歳出		
		収入済額	※1 収入未済額	支出済額	翌年度繰越額	※2 不用額
平成19年度	9,369,460,000	8,983,257,656	328,597,960	8,887,143,150	444,531,000	37,785,850
平成18年度	9,236,577,000	9,192,612,133	181,493,863	9,110,648,445	92,460,000	33,468,555
差引額	132,883,000	△209,354,477	147,104,097	△223,505,295	352,071,000	4,317,295

※1 収入未済額 = 見込んだ収入額と実際の収入額との差額

※2 不用額 = 経費の節減等により支出が減となった額

### 監査委員審査意見

審査に付された各決算は、関係諸帳簿及び証書類と照合した結果、計数に誤りがなく適切に処理されているものと認めました。しかし、町税、国民健康保険税及び税外諸収入の収入未済額が年々増加傾向にあることを踏まえ、賦課徴収の公平性の観点からも、徴収率向上のため、なお一層の厳しい対応を望みます。

# 特別会計決算

## ◎ 国民健康保険

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額
平成 19 年度	2,452,507,000	2,454,072,213	194,827,695	2,429,539,703	0	22,967,297
平成 18 年度	2,320,727,000	2,321,967,796	176,962,224	2,298,477,425	608,000	19,141,575
差 引 額	131,780,000	132,104,417	17,865,471	131,062,278	△ 608,000	3,825,722

## ◎ 老人保健

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額
平成 19 年度	1,832,568,000	1,832,576,911	0	1,813,732,443	0	18,835,557
平成 18 年度	1,886,768,000	1,886,768,139	0	1,811,222,837	0	75,545,163
差 引 額	△ 54,200,000	△ 54,191,228	0	2,509,606	0	△ 56,709,606

## ◎ 介護保険

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額
平成 19 年度	1,763,051,000	1,791,376,977	5,163,621	1,717,038,700	0	46,012,300
平成 18 年度	1,684,040,000	1,711,675,756	5,841,105	1,641,352,795	1,623,000	40,188,205
差 引 額	79,011,000	79,701,221	△ 677,484	75,685,905	△ 1,623,000	5,824,095

## ◎ 介護サービス事業

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額
平成 19 年度	8,352,000	8,493,675	0	8,125,440	0	226,560
平成 18 年度	4,788,000	4,890,500	0	4,706,260	0	81,740
差 引 額	3,564,000	3,603,175	0	3,419,180	0	144,820

## ◎ 七戸霊園事業

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額
平成 19 年度	3,350,000	3,345,134	22,400	3,088,098	0	261,902
平成 18 年度	2,945,000	3,617,651	4,800	2,289,312	0	655,688
差 引 額	405,000	△ 272,517	17,600	798,786	0	△ 393,786

## ◎ 公共下水道事業

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額
平成 19 年度	355,228,000	355,459,465	5,354,028	355,135,396	0	92,604
平成 18 年度	594,341,000	594,848,413	4,836,553	594,060,150	0	280,850
差 引 額	△ 239,113,000	△ 239,388,948	517,475	△ 238,924,754	0	△ 188,246

## ◎ 農業集落排水事業

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額
平成 19 年度	46,575,000	46,568,401	1,600,890	46,567,630	0	7,370
平成 18 年度	54,304,000	54,319,336	1,014,712	54,178,107	0	125,893
差 引 額	△ 7,729,000	△ 7,750,935	586,178	△ 7,610,477	0	△ 118,523

## ◎ 水道事業

(単位：円)

区 分	予算現額	収 入		支 出		
		決算額(税込)	決算額(税抜)	決算額(税込)	決算額(税抜)	不 用 額
平成 19 年度	293,270,000	301,183,164	287,539,028	249,156,798	246,519,134	44,113,202
平成 18 年度	297,359,000	298,879,402	284,929,770	246,891,872	244,669,024	50,467,128
差 引 額	△ 4,089,000	2,303,762	2,609,258	2,264,926	1,850,110	△ 6,353,926



# 九月 定例会

## 主な審議内容

### 議案

平成20年第3回定例会は9月4日に開会し、三上正二議会運営委員長の報告の  
 おり、会期を11日までの8日間と決定しました。  
 4日は、今定例会に上程された議案について町長の提案理由説明、8日は一般質  
 問（6人）、9日、10日は平成19年度各会計の決算審査、最終日の11日は議案審議  
 が行われました。  
 提出された議案は、本会議で審議され、全議案可決され予定どおり閉会しました。

制度改正により、現行の乳  
 児の十割給付を、小学校就  
 学の始期に達するまでの者  
 まで、年齢拡充するため改  
 正をするものです。  
 ☆原案可決

○コミュニティセンター等  
 設置条例の一部改正  
 鶴児平会館の寄附採納に  
 伴う施設の追加、並びに施  
 設の管理方法、使用料徴収  
 額を見直すためのものです。  
 ☆原案可決

○町道路線の認定について  
 道路法の規定に基づき、  
 町道認定するため議会の議  
 決を求めるものです。  
 ☆原案可決

○工事請負変更契約の締結  
 について（北及び南調整  
 池建設工事）  
 北及び南調整池建設工事  
 内容に変更を生じたので、  
 契約金額の変更をするため  
 のものです。  
 ☆原案可決

○七戸幼稚園保育料徴収条  
 例の一部改正  
 七戸幼稚園保育料の免除  
 規定において、文部科学省  
 の「幼稚園就園奨励費補助  
 金交付要綱」が改正された  
 ことに伴い、所要の改正を  
 するものです。

○乳幼児医療費給付条例の  
 一部改正  
 地方自治法の一部を改正  
 する法律が平成20年6月18  
 日に公布されたことに伴い、  
 所要の改正をするものです。  
 ☆原案可決

○県国民健康保険連合会の  
 一部改正

### 報告

○専決処分の報告について  
 （町道での事故に係る和

### 発議

○新たな過疎対策法の制定  
 に関する意見書  
 ☆原案可決

### 陳情

○後期高齢者医療制度の中  
 止・撤回を国に求める陳  
 情書  
 ☆委員会付託

## 平成20年度9月補正予算

区分	補正額	予算総額
一般会計(第2号)	△1,300万0千円→	96億1,900万0千円
特別会計	国民健康保険(第2号)	△5,536万2千円→ 23億8,307万1千円
	後期高齢者医療(第1号)	14万8千円→ 3億0,806万8千円
	介護保険(第2号)	1,867万7千円→ 17億9,677万0千円
	公共下水道事業(第2号)	500万0千円→ 6億7,033万6千円

○非核平和と自治体宣言決議  
 ☆原案可決  
 ○議会議規則の一部改正  
 ☆原案可決

# 一般質問



瀬川 左一 議員

## 町長は、次期町長選挙に出馬されるのかどうか伺いたい

### 議員

福士町長は5期連続して町長に在任してきたが、その任期も来年4月で終わります。野左掛山開発、道の駅、物産館建設事業など数々の事業を成功させ、また、旧七戸町と旧天間林村の合併を果たし、悲願であった新幹線開業も目前に迫っております。これまでの強いリーダーシップと全身全霊を町政に傾けてきた福士町長は、町民の誇りとする政治家です。

続投を望む声も多々あるうかと存じますが、強いリーダーとして長年の政治経験を生かして、再び町政を引っ張っていくのか、あるいは後進に道を譲り、若い力を後押しするのかご意見を聞きたい。

**立候補しない  
残された任期は全力を尽くす**

### 町長

平成2年3月から今日まで5期19年間、町長に在職いたしました。その間、多くの課題を大過なく、私なりに乗り越えてきたつも

りであります。これもひとえに、議員各位そして町民の方々の暖かいご指導とご支援によるもので、改めて深く感謝申し上げます。

しかし、私も76歳という高齢になり、進退について総合的に熟慮した結果、次の選挙に立候補しないことに決めましたので、ここに表明いたします。なお、残された任期は全力を尽くしてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

### 中央図書館の現状と将来の展望は

### 議員

図書館は洋の東西を問わずその町のシンボルといわれています。近年の図書館

はインターネットで自由に調べることが出来る設備、学生や資格修得を目指す社会人が勉強に集中する施設DVDなどの視聴覚資料を見ながら討議することが出来る設備、そして外来者が七戸町の歴史や文化を一目で把握できる設備などの機能性が求められています。しかし、図書館の設備には多額の費用がかかり、厳しい町財政の中では予算はなかなか付きません。そこで、町村合併により空きが出た建物を効率的に使えば、費用を抑えられると思います。例えば七戸庁舎をそのまま図書館にしたいかがでしょうか。現在の七戸庁舎はいくつかの課と支所業務が残っていますが、中央図書館をそっくり七戸庁舎に入れ替えれば、歴史のある城跡を背景とした、立派な図書館が出来るのではないのでしょうか。

**空いた施設の活用  
について総合的に  
判断したい**

### 町長

図書館の整備については、財政が厳しくなっており、どうしても緊急性のある事業に予算が使われ、のびのびとなっておりませんが、町

村合併により空いた施設がありますので、それらを活用できないのか総合的に判断していきたいと思えます。

### 教育長

中央図書館は昭和38年に現在の南公民館に併置して開館し、町の文化振興の拠点として大きな役割を担ってきました。図書館の現状ですが、平成19年度末の蔵書数は、4万6046冊となっており、建物には収容できない図書は倉庫に保管したままのものが沢山あります。そして、閲覧室は30名程度の利用は可能であります。狭くて落着いて読書が出来る環境ではありません。こうした状況から、町では、平成27年度を目標年度とする長期総合計画の中に、地域住民の拠点となる施設の整備として、図書館の整備を挙げて検討を重ねているところです。

また、情報メディアの発達普及により、青少年の読書離れが進行し、読解力の低下、想像力の欠如など指摘されており、現在子供の読書活動推進計画を策定中

### 中央図書館長

また、町村合併後の施設の有効活用を図るために、七戸庁舎の活用も視野に入られて検討していきたいと思えます。平成19年度における図書館の利用状況ですが、利用者は5618名で、貸し出した図書は1万3725冊となっております。



川村三十三 議員

# 下水道工事計画を練り直すべきと思うが！ 新幹線開業に伴う七戸の駅名は！

## 議員

現在、町内の生活雑排水

の処理にあたっては、町が供用している下水道と、集落に設けている農業集落排水、それに各家庭が独自に設置している合併浄化槽があります。これらの施設については、それ相応の経費がかかっておりますし、現在も町の下水道工事は進められております。

汚水処理に関する施策は下水道法によりおこなわれておりますが、住宅密集地ではコストも安くつくでしょうが、過疎地や集落の点散する当町では、多額の経費を要するものと思われます。

現に町の起債額182億円のうち4分の1は、下水道関係に使われていることを思えば、下水道法の改正に伴って、早期に下水道事業の計画を練り直すべきだし、町民にもこのことを周知徹底すべきだと思いますが、町当局の見解を伺いたい。

時代の変化や住民の要望等の多様化を踏まえ、緊急に見直しを図るべきと思う

## 町長

町の下水道整備計画は、

生活関連の汚水を処理し、衛生的で快適な住環境を整備するため進めております。この整備計画は合併前の旧七戸町、旧天間林村において、それぞれ全体計画を策定し、平成7年度から工事に着手して、平成14年度からは一部供用開始しておりますが、平成27年度に完成する計画で工事を進めております。

また、七戸、天間林地区とも、事業投資効果が期待される中心部や住宅密集地から整備を進めているところでありますが、下水道工事の見直しにつきましては、時代の変化や住民の要望等の多様化を踏まえ、緊急に見直しを図るべきだろうと思っております。

七戸駅にするべきと思うし、町としても早期に方針を示すべきでないか

## 議員

私は六月議会においても新幹線七戸駅（仮称）について質問いたしました

町長から明快な答弁を得られませんでした。

先般、議会では新幹線開業に対処する為に、二戸駅、くりこま高原駅、上毛高原駅の三つの駅とそれに関連する施設を視察してきました。

二戸市での説明では、駅名は二戸、八戸、七戸というように、戸のつく駅が三つ続くという事は、南部藩九牧の名前を全国に宣伝できる機会にもなるので、駅名を七戸駅にしてください、ということをお勧めしました。

今まで協力を頂いた上十三圏域の市町村には感謝しながら、新幹線の駅名を、七戸町民の自立心、自尊心を高揚する意味からも、七戸駅にするべきだと思うし、既に、町内でも駅名についての動きが見られるだけに、町としても早期に方針を示すべきだと思うので、町長の見解を伺いたい。

広域圏の意向を議員各位に提言し、今年度中に要望を取りまとめたいが、駅名は最終的にはJRが決定する

## 町長

6月議会において駅名に

ついての質問がありました。新幹線計画は当初から上十三広域圏の中でいろいろと努力し、合意をいただきながら進めてきました。特に、ミニ新幹線案からフル規格にするための広域的な要望活動においては、上十三広域圏の市町村にいろいろの協力と支援をいただきました。

そういう広域圏の関係です。当時の二戸市も十和田という駅名を使おうとしましたが、上十三広域圏の市町村の支援をいただいで、諦めさせた経緯があります。また、八戸市でも十和田をつけようという動きがありました。過去の約束事もあつて諦めていただきました。広域圏の中で十和田をつけるという確約はありませんが、そういう流れでできているということを知っていただきたいと思います。

6月議会以後どういう方針を講じたかということですが、庁内の関係課の代表

者による駅名調査委員会を立ち上げて、駅名についての調査をしております。それは、東北新幹線、上越新幹線、北陸新幹線の駅名について、どういう経緯で駅名をつけたのか調査させているところでもあります。その結果を踏まえて、庁内で検討して議員各位に報告しながら協議したいと思っております。さらに、JR盛岡支社等にも訪問した際に駅名について伺いましたところ、インパクトのある知名度の高い駅名が望ましいとのことでした。また上十三広域圏においてもこれから話し合いをして、広域圏の意向を取りまとめ、議員各位に提言し、要望をいただきたいと思っております。駅名はJRが最終的に決定することになっておりますが、広い視野から総合的に判断して、沢山の乗降客を呼べるような駅にするためにも、駅名は非常に大事だと思っておりますので、今年度中に要望を取りまとめたいと思います。





佐々木寿夫 議員

### 19年度重点課題にあげていた、既存商店街や農業・商工業の振興にどのような成果があったか また、経常収支比率や実質公債費比率は改善されたのか

#### 議員

町長は昨年の3月議会において、7つの重点課題をあげていますが、その1点目が都市基盤の整備で、新幹線駅周辺の整備と生活道路の改善に取り組むとし、2点目に産業の振興をあげています。私は産業の振興について、特に既存商店街の振興や農業・商工業の振興について、どのような成果があったのか伺いたい。また、予算編成方針の中で強力に行財政

改革を推進するといっておりますが、その結果、経常収支比率や実質公債費比率は改善されたのか伺いたい。

**農家の経営安定のための補償制度への加入促進 飼育の委託、環境保全事業の導入、農産物の試験栽培の調査、商店街各種事業また商工会への支援をおこなった**  
財政状況については、起債償還の増大等により、当分の間、厳しいと思われる

#### 町長

農業振興としては、農家の経営安定のための補償制度である水田経営所得安定対策の加入促進や、冬期間も農作物の生産が出来るように21棟のハウスの導入を図り、畜産関係では優良繁殖雌牛19頭を導入し、農家に飼育を委託しております。また、農地・水・環境保全事業を導入して、町内の22組織により環境保全と質的向上を図るため活動しております。さらに、特産品開発ではキムチ加工や、バイオマス燃料を生産するため、農産物の試験栽培の調査を行なっているところです。商店街振興としては、商店街活性化推

進事業、地元購買促進事業、各種イベント、ポイント事業などの支援、町の駅の助成

さらに、商工会に対して、地域商工業の改善、発展、振興を図れるよう支援しております。

次に、平成17年度に、七戸町行財政改革大綱を平成21年度までの5カ年計画として策定しましたが、国の三位一体改革による地方財政への影響は大きく、この厳しい財政状況に対応するため

に、議員、職員の手当や給与の一部を削減、財政援助団体への補助金の見直し等を実施した結果、平成19年度の経常収支比率は96・4%になっております。また、一般会計の起債償還がピークを迎えていること、新幹線建設及び下水道事業の起債償還の増大等により平成19年度実質公債費比率は18・1%で年々比率が高くなっております、当分の間、厳しい財政状況が続くものと思われ

**原油高騰により、町民の生活や経営を守るための対策は**

#### 議員

異常な原油高騰により、町の産業も業種によつて大変な影響を受けていますが、このような中で町民の生活や経営を守るため、1点目として、社会的弱者の生活を寒さから守るため、昨年の福祉灯油補助以上の補助が出来るのか。また、生活保護世帯も対象に出来ないか。2点目として、農業経営が重油、肥料、飼料、資材等の値上げで大変厳しい状態になっているが、その対策はとられているのか伺いたい。

**国の緊急総合経済対策の動向を注視しながら、町の支援を考えていきたい**

#### 町長

1点目について、町では高齢者や低所得者に対する助成の対策を検討しているところですが、今後、県町村会や関係機関と連携しながら、国・県への陳情及び要望活動を展開していく所存ですので、それらの動向を見守りながら対応してまいりたいと思っております。2点目について、農業に対する支援として、国では

原油、肥料、飼料等の価格高騰の補填等を含め緊急総合経済対策を検討していることから、その動向を注視しながら、町の支援を考えていきたいと思っております。さらに、認定農業者に対しては、経営資金等融資制度の斡旋を含め、対応してきたいと思っております。

**医療制度の要望や苦情はないか、また、特定検診の検討結果は**

#### 議員

後期高齢者医療制度は、保険料の問題はもとより、差別的な医療内容にも原因があることから、1点目として、町民からどのような要望や苦情が寄せられているのか。2点目として、後期高齢者の特定検診を希望者全員に来年度も続けることは出来ないか。町長は6月議会で検討する旨の答弁をしているが、検討の結果を伺いたい。

#### 町長

医療制度の内容が理解できない等の苦情が多い、検診は希望者全員の健康審査を実施するが、生活習慣病で治療を受けている方は来年度から対象外となる

1点目について、制度の内容が理解できないということが一番多く、保険証の使い方に関するもの、文字が小さい、保険料を徴収する理由、年金から天引きする理由等の苦情となっております。2点目について、今年度は希望者全員の健康審査を実施することにしましたが、生活習慣病で治療を受けている方については国の考え方に沿って、来年度から健康審査の対象外とすることになって

**火災報知器設置の検討結果は**

#### 議員

6月議会において、70歳以上で一人暮らしの非課税世帯への火災報知器の設置を検討する旨の答弁を頂きましたが、検討の結果を伺いたい。

**半額の2500円を上限として助成する**

#### 町長

火災報知器設置費用の半額の2500円を上限として助成し、平成21年3月末までに設置された方を対象とします。



# 夏まつりの実施結果は 花火打ち上げの再開は

附田 俊仁 議員



## 議員

8月16日に行なわれた七戸夏まつりは、天候にも恵まれ、大変盛況だったように見受けられましたが、町長はどのように感じられたのでしょうか。今年度の実施結果について尋ねたい。

また、新町誕生後の夏祭りでは、花火が中止されているわけですが、花火打ち上げ再開を望む声が私のもとに多数寄せられております。何とかして、花火の打ち上げは再開できないものか伺いたい。

**結果については、来客数並びに出店の売上も昨年を上回った**  
花火は、厳しい財政状況であり、実施出来ないが、検討していきたい

## 町長

第2回七戸夏祭りは8月16日に開催され、天気にも恵まれ非常に素晴らしい夏祭りとなりました。昨年は8月1日の開催でありましたが、お盆の帰省時期に合わせるため、夏祭りを開催した方

がよいのではないかと、重要な要望がありましたので、検討した結果、今年以前実施していた日の8月16日に開催することにいたしました。

来客数は概算ですが5200人で昨年より200人以上上回っております。出店は町内から17店あり、売上も昨年よりよかったです。また、会場の駐車場が非常に少ないというので、今年には会場南側の芝生に約160台の臨時駐車場を設置しました。

このことにより、少しではありますがありますが、来客者の利便が図られたものと思っております。今後も七戸夏祭りに沢山の来客者が来てもらえるよう、催事内容等を十分検討してまいりたいと思っております。

次に、夏祭りにおける花火大会の開催は、平成18年度のみよこ祭を最後に、厳しい町財政の状況であることから、各種イベント予算の抑制により中止せざるを得ない状況となりました。町内から再開を望む声があ

ることは承知しておりますが、厳しい財政状況が続いている現在では、町主体で花火大会は実施出来ないものと考えておりますが、県内の中には民活により、有料の座席を設け、その収入を運営費に充てて、花火大会を開催しているところもあるようですので、これを参考にしながら、花火大会が開催できるか検討してまいりたいと思っております。

現在、町道の草刈りの実態はどうか  
地域力を育成する  
ための町の取り組みは

## 議員

田園風景は七戸町の貴重な財産のひとつです。これを維持管理していくことは非常に大事なことで、現に町でも町道については業者

に委託して、年に何度か草刈り作業を実施しています。農用地については所有者・利用者に任せるとして、町道を地域コミュニティで維

持管理できるよう、予算を措置できないものでしょうか。自分たちの手で、自分たちの暮らす田園風景を守るといふ心を育て、コミュニティの結束力を高めることによつて、地域力再生が図られれば、これに越したことはないと考えております。そこで、現在町道の草刈りの実態はどのようになっているか、また、地域力育成のための町の取り組みはどのようになっているのか伺いたい。

町の長期総合計画のテーマ「潤いと彩りあふれる田園文化都市」という目標に近づけるようにしたい

## 町長

今年度の町道の草刈りについては、既に町内の業者に発注して、草刈作業は終了しておりますが、町の主要幹線道路13.1キロを施工費412万円で行なっております。地域のコミュニティの充実を図るため、地域周辺の清掃作業に草刈の

予算の一部を移譲できないかと、来年度の予算編成の段階でいろいろと検討してみたいと思っております。行政ができるのは主要幹線道路となつていくわけですので、小路とか裏道等については今まで町内会や常会等の奉仕活動によつて行なつていくことか、今後もそういうことでお願ひしたいと思います。また、環境美化については、農地・水・環境保全対策事業により、町内の22組織で、農村風景の保全美化に勤めているところですが、これは単に農家だけでなく、地域の住民が一体となつて、周辺の環境美化を進めていくところとす。

町の長期総合計画のテーマとして「潤いと彩りあふれる田園文化都市」という目標がありますので、その目標に一步でも近づけるようにしてまいりたいと思っております。

# イオン出店に伴う事業見直しにより 業務及び事業計画変更によって生じた 経費を請求する考えは



原 子 孝 議員

## 議員

これまでの町とイオン社の云為を再精査して、基本協定について町長の基本姿勢を訪ねたい。町長は町財政が厳しいという理由で、昨年の年度途中で地方自治体の基本である公会計の原則を逸脱して、職員給与あるいは議員報酬を減額した行為は容認できるものではありませんが、イオン出店の件に伴う経費の支出において、どのような部分までイオン社に請求する考えなのか不透明であり、疑問をもつものです。町長はイオン出店に関わる経費について、事業見直し、業務及び事業計画変更によって生じた上乗せ分を含め、イオン社に対してすべて請求して回収する考えがあるのかどうか尋ねたい。

また、基本協定書第2条

において「イオン社の出店に係る用地の確保が図られた場合には見直し業務を行なうものとする」とありますが、なぜ、当町の立場を生かすできなかったのか尋ねたい。

**イオン社の起因によるものについては、当然イオン社が負担し整備する、発注遅れにより冬期間加算額5〜600万円程度生じている**

## 町長

基本協定に関わる私の基本姿勢ですが、イオン出店につきましては、議員全員協議会や先般の6月議会において、報告いたしているところです。出店に伴う整備に関わる事業費の負担については、イオン社の起因によるものについては、当然イオン社が負担し整備することになっていますが、今のところイオン社の起因により、工事の発注が遅れたことによる冬期間加算額は概算で500万円から600万円程度になると見込まれます。

## 副町長

イオン出店は駅周辺のみ

ならず、町の活性化につながる企業であると認識しておりますが、出店により町には固定資産税や雇用の発生によって住民税等の税収が見込まれます。約50億円という大きな投資をするわけですが、このうち4割は補助で、6割は町費ですが大部分は合併特例債ですので、そのうちの7割が地方交付税として算入されてくることから、町の負担はかなり少なくなっております。イオン出店により駅に新幹線利用者とは別に買い物客が集まるということから、ひとつの企業誘致という考え方になると思います。また、出店の確約については基本協定を結んだ時点では、イオン社の条件次第でなかなか結べないことから、最低限担保する協定は何かというところを検討協議してきましたが、新幹線開業まであと2年を控えていることから、イオン社開発責任者から今年あるいは遅くとも今年度末までに、県に対して出店の申請を何としてもしたいというところで、現在進めているところ

**諸資材の高騰により、どの程度、工事費の増額を見込んでいるのか**

## 議員

当町のように駅前開発に条件が異なるにしても莫大な投資をしているところはなはいと思われませんが、今日の諸資材の高騰により、事業費の増大が見込まれている現状にあつて、町民並びに当町にどのような利益をもたらさうとしているのか見えない実情であります。工事費の増額が避けられない状況にあつて、どの程度の増額を見込んでいるのか伺いたい。

**具体的な見込み額は申し上げることが出来ないが県で策定した運用基準に準拠して対応したい**

## 町長

最近の鋼材及び燃料の高騰は著しく、駅周辺整備事業の発注工事への単品スライド条項適用による工事費の増額が見込まれるところで

す。単品スライド条項適用による増額分の基本的な算出方法は、高騰分の額から当初の額を差引いた差額分が、工事請負契約額の1%を超える場合において対象となるので、現時点では、増額分を把握することは困難であります。県が示している事前把握の目安を参考にいたしますと、燃料では80%、鋼材では10%の単価アップがあつた場合に対象となる可能性がありますが、現在の燃料単価の状況は、9月に入り値下がり傾向にありまので、増額の可能性はないものと思っております。鋼材は20%程度の増額が予想されます。いずれに致しましても、現時点での具体的な見込み額については申し上げることは出来ませんが、県で策定した運用基準に準拠して、対応してまいりたいと思

# 町立「盛田稔記念図書館」を早急に整備して 新幹線開業までに間に合わせていただきたい



三上 正二 議員

## 議員

盛田家が150年に及ぶ長きにわたり、中世歴史研究を中心とする膨大な資料を含め収集された6万点余りにも達する書籍資料は、大変貴重な資料ばかりで、その保存や整理の現状はどうなっているのでしょうか。

盛田稔先生の書籍資料は個人の所有物であります。その貴重な書籍資料を保存利用する方法がないものかと、これまでに何度か話題になりましたが、先般、町民有志による盛田稔記念図書館設立準備委員会が発足されました。6万点余りに及ぶ資料は個人の管理では難しいものと考えられることから、この貴重な書籍資料の流出、散逸、劣化、破損等、また管理不十分のためによる不測の事態になら

ないことを祈りますが、長期的な視点で考えたとき、適切な対応が必要だと思います。

そこで、七戸庁舎4階のリフォームを行ない、盛田稔先生を名誉館長とする町立盛田稔記念図書館を整備してはいかがでしょうか。

真に生きた図書館として、人々に共感を得ることの出来る図書館、まちづくりに寄与することの出来る図書館として、盛田稔先生を中心とする歴史研究のメッカとしての図書館を目指す方向がよいと思います。

町民が歴史と文化の町だと誇りに思えるような記念図書館を、新幹線開業までに間に合わせて、早急に整備していただきたいと思いますが、町長と教育長の考えを聞きたい。

**歴史的資料、文化遺産として後世に伝えるとともに、歴史情報を提供する環境を整えたい。英知を結集し施設整備に努力する**

## 町長

盛田稔先生は、長年にわたり青森大学の学長として、青森県の高専教育に大きな足跡をのこしたばかりか、中世の歴史研究を中心とした著書等の執筆活動をはじめとして、現在も南部馬を中心とした日本古来の在来馬の歴史研究を続けておられます。

先般、町民有志により盛田稔先生の蔵書等の保存・活用の出来る施設の整備を求めて、町立盛田稔記念図書館整備促進協議会が設立され、そして9月1日に陳情を受けました。町としても、盛田稔先生が所蔵されている歴史的・文化的に価値のある貴重な書籍、古文書の保存の将来を考えたとき、町民共有の歴史的資料、文化遺産として後世に伝えるとともに、歴史情報を提供する環境を整えていかねばならないと思っております。

七戸庁舎4階を改造して、盛田稔記念図書館として利用できないかとのことです。が、財政環境が大変厳しい中ではあります。他の遊

休施設等も含めて検討し、適切に対応してまいりたいと思っております。

なお、平成18年度に策定した七戸町長期総合計画では、平成27年度を目標年次として、生涯学習の拠点となる公民館・図書館の施設の整備を図ることとしており、英知を結集し施設整備をするための努力をしてまいりたいと思っております。

**施設の構想を検討し、新幹線開業までに一部でもオープン出来ればと考えている**

## 教育長

盛田稔先生の大変貴重な書籍古文書等の所蔵について、教育委員会としても町の歴史資料として大変貴重なものであると思っております。これらを出れば収集保存すべきだと考えております。参考までですが、国では公立公文書館法によって、国の各機関で保存している歴史資料等の重要な公文書を国立公文書館に移管することが出来るように定め、

貴重な資料の散逸を防ぎ後

世に伝えるように努めております。したがって、盛田稔先生所蔵の書籍等を収集保存して、町民共有の財産にするとともに、全国への歴史情報発信の基地となるよう、また、生徒・学生などへの歴史学習の場の提供をすることが出来るようにするなど、施設の構想を検討していきたくと考えております。

また、七戸庁舎4階の利用も含めて適切な場所を検討したいと思っております。が、去る9月4日に盛田稔先生から寄附採納願いが出されておりますので、出来るだけ早い機会にプロジェクトチームのようなものを立ち上げて、図書館を管理する司書職員等の検討をしながら、新幹線開業までには一部でもオープンできればと教育委員会としては考えているところでです。



# 委員会の動き

## ◎道路整備促進特別委員会

開催日 平成20年8月25日

案件 ①一般国道45号上北横断道路の経過報告及び現状について

### ②現地視察

内容 担当課長より活動報告等を行い、その後工事中の現場を視察した。



上北横断道路の現地説明会

## ◎議会運営委員会

開催日 平成20年8月29日

案件 ①第3回定例会提出議案等について

内容 総務課長、企画財政課長から提出議案等の説明を受けた後、会期日程、請願・陳情・意見書等について審議した。

## ◎文教厚生常任委員会

開催日 平成20年9月29日

案件 ①陳情第6号後期高齢者医療制度の中止・撤回を国に求める陳情書について

内容 陳情第6号は審査の結果、不採択とすることに決定した。

## ◎東北新幹線対策特別委員会

開催日 平成20年10月7日

案件 ①研修視察を踏まえた駅名の意見交換について

内容 12月定例会までに東北新幹線対策特別委員会の意見を集約することとした。

## ◎議会広報編集特別委員会

開催日 平成20年9月30日

案件 ①議会広報第3について

内容 11月発行の議会だより第14号の編集方針について協議した。

開催日 平成20年10月20日

案件 ①議会広報第3について

内容 11月発行の議会だよりについて、記事の校正等を行なった。

## 町村議会広報研修会

平成20年9月25日

議会広報編集特別委員会は、毎年行なわれており、県町村議会議長会開催の町村議会広報研修会へ参加しました。

今回の講師は、エディターの城市創氏で、「議会だより」編集のポイントと題し講演を行いました。

## 編集後記

夏祭も終わり、日々秋霜の季節が近づいてまいります。議会広報も、町民によりよく伝えるために編集会議にも力が入ります。

町の皆さまから、議会についてのお話をたくさんいただきました。新幹線の駅前広場の件とか、これからできる産直施設とか、第一次産業（農業問題）、また商店街のことなど、よく声をかけられます。私が考える以上に、皆さまがこの「議



会だより」を読み込んでくださっているのがよくわかり、驚きまたありがたき思っています。

この「議会だより」が、皆さまと町議会の架け橋となり、議論を深めるきっかけとなることを願っております。  
(瀬川)

## 議会広報編集特別委員会

- 委員長 附田 俊仁
- 副委員長 松本 祐一
- 委員 川村 三十三
- 盛田 恵津子
- 瀬川 左一
- 佐々木 寿夫